

CHALLENGE 130

大阪YMCAでは、40歳以下のスタッフがチームとなり「チャレンジ130」プロジェクトに取り組んでいます。これは社会、特に海外の課題に目を向け、YMCAとして何ができるか、世界の環境・人権・貧困・教育の課題のためにアクションプランを企画する取り組みです。そして企画だけでなく、実際に海外のYMCAと連携し、実現することが求められています。現在、14の企画が模索・遂行中です。私たちの挑戦、子どもたちの未来を豊かにするため、世界を変えるための支援にご協力、お願い申し上げます。

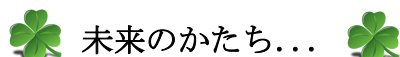
14企画の一例をご紹介します

大阪YMCA スタッフがおくるチャレンジ130企画『ミャンマースタディーツアー』

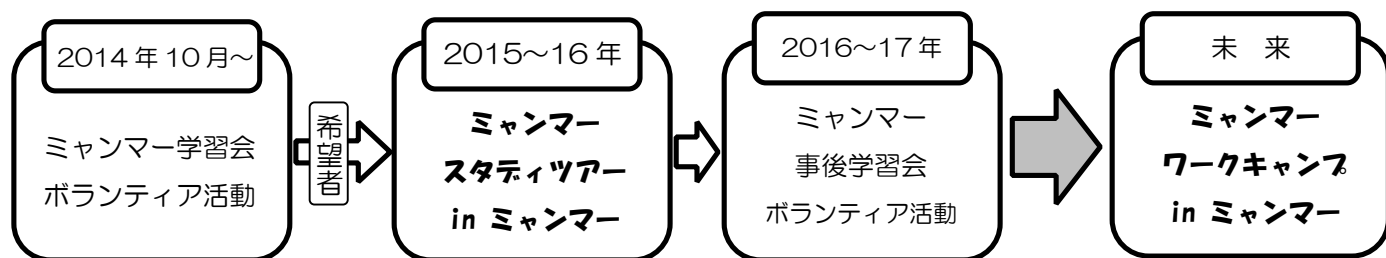
世界には、戦争・貧困・環境など様々な課題の中にある若者が多くいます。日本は、戦争や貧困と無縁の国に思われがちですが、世界で最も平和的な憲法と言われた日本が誇るべき憲法9条の改正が進んでいたり、便利なゆえに人との繋がり希薄さが広がりつつあります。若者の中には、自分の気持ちを上手く吐き出すことができず苦しんでいる者たちも多くなってきています。つついづい私たちは、「何かやってあげよう」と思ってしまうがちですが、支援する側・される側ではなく、

共に生きる“インクルージョンの世界”を目指したい

そんな想いで今回の企画を立ち上げました。



未来のかたち...



* 「ミャンマースタディーツアー」から「ミャンマーワークキャンプ」への想い

現在、思春期の子どもたちを取り巻く環境には多様な世界が広がっています。その多様さの中で、環境や自分の感情の変化についていけず、自信を失ってしまう子どもたちも多くいます。また、小中学校に行かないことを勇気をもって選択し、エネルギーを溜めている子どもたちもいます。

そんな思春期の子どもたちが多く通う高校が大阪YMCAにはあります。それが、表現・コミュニケーション学科（表コミ）です。表コミに通う生徒からは、「海外に行ってみたい。でも自分は行けない」という言葉が聞こえてきます。表コミで自信を回復し次のステップに進みたい。でも海外は・・・。そんな彼らの想いが強く伝わってくる言葉です。

「YMCAだったら、私たちも海外に行けるかも」そんな願いを形にしたい！“個性があるから世界が成り立つ”すべての人がそのことを実感できるキャンプを作っていきたいと思っています。ミャンマーは、ここ数年で民主化が進み、今だからこそできることがたくさんあります。YMCAは、ミャンマーのマンドレーYMCAとパートナーシップを結び、より強い絆で繋がっています。

まずは、日本にてミャンマー学習会を実施し、国際社会について学びを深めます。その後、趣旨に賛同し一緒に活動してくれる高校生・大学生と共に「ミャンマースタディーツアー」を実施。実際にミャンマーにて、現状を知り、現地での活動を通して、Win Winの関係を築くために必要なことを経験し学びます。帰国後も学びを続け、最終的に、表コミの生徒だけでなく、幅広い高校生・大学生が海外に行き、現地での活動を通じて自分の存在意義を感じ自信をつけることができるワークキャンプへと変化させていくことが、私たちの描く未来の形です。ミャンマースタディーツアーに参加した参加者には、ぜひ私たちスタッフと一緒にワークキャンプを支える存在になって欲しいと願っています。



ぜひご賛同いただき、Tシャツの購入にご協力、よろしくお願いします。

【お問い合わせ先】

大阪YMCA 国際専門学校 表現・コミュニケーション学科

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6 土佐堀館 4階

TEL:06-6441-1123